

ひまわり栽培交流

ひまわり栽培交流とは？

子どもたちが園庭や近隣の公園などで、地域の方と交流を行いながら、港南区の花「ひまわり」を栽培しています。

令和3年（2021年）の栽培交流

園名をクリックすると各園の交流内容にジャンプします。

- ▼ [芹が谷びよっこ保育園](#)
- ▼ [上大岡東保育園](#)
- ▼ [上大岡はるかぜ保育園](#)
- ▼ [港南台第二保育園](#)
- ▼ [笹下保育園](#)

芹が谷びよっこ保育園 / 芹が谷1丁目公園愛護会



「種まきイベント」

5月下旬に、公園愛護会の皆さんに種の蒔き方を教えてもらいながら、3種類の種を蒔き、水やりをしました。花壇ではミミズを発見！子どもたちが作ったひまわりの看板を持って、愛護会の皆さんと写真を撮りました。いつも遊んでいる公園は、愛護会の方たちがきれいにしてくださっていることを知ることができました。



「開花撮影会」

天候不順や台風のため、交流は断念。

公園愛護会の皆さんが倒れたひまわりを直してくださったので、8月中旬に子どもたちがひまわりを見に行きました。

上大岡東保育園/地域の親子



6月下旬に、地域の親子と年中・年長クラスの子どもたちが、自分の鉢にひまわりの種を植えました。元気に育つには、水と肥料と太陽が必要ということを知り、自分の鉢を持って日の当たる場所を探す姿がありました。

8月に入って暑さが増し、葉がしおれる姿を見て残念そうにする姿もありました。夕方になると外に出て水やりをする姿や、友だちの鉢にも水やりをする気持ちも育ってきています。子どもたちも地域の方もひまわりが咲くことを楽しみにしています。

ひまわりの栽培を通じて、地域の方とのかかわりも広がっています。

上大岡はるかぜ保育園



「種まき」

5月中旬、種類ごとに園庭やプランターに分けて、ひまわりの種を植えました。

子どもたちが主体的に肥料を撒き、種を植え、水をあげました。

「ひまわりってこんなにたくさん種類があるんだ!!」と新しい発見もありました!

子どもたちは、ひまわりの芽が出ることを心待ちにしています。

「種の収穫」

8月初旬、先生がお手本として収穫の方法やタイミングを説明し、種の収穫を行いました。

収穫した種は新聞紙の上に広げて乾かしました。

子どもたちは、自分たちが1、2個蒔いた種から花が咲き、たくさんの種ができたことに驚いていました。

毎日水遣りをして大きくなるひまわりに愛着を持つ子が多く、ひまわりの成長を皆とても喜んで見守っていました。

港南台第二保育園/地域の親子



「種まき」

5月下旬、地域の親子と、お互いの自己紹介と園庭の花壇への種蒔きで交流を行いました。

園児は緊張したり照れたりしながらも、地域の親子に自分の名前を伝えました。

その姿に地域の保護者からは、「かわいい」「しっかりしている」と終始笑顔が見られました。
種蒔きの後には、「お砂のお布団かけるの?」と、種蒔きにも慣れた様子の園児もいました!



「開花」

7月下旬、雨の日が多かったおかげか、ひまわりは太い茎となり、立派な花が咲きました。
熱中症対策のために、地域の親子に開花を見てもらうことが出来ませんでした。
園児たちは、園庭で遊べる時間にひまわりの花と記念撮影を行うことで開花を喜びました。

笹下保育園 / 公園愛護会



「種まき」

5月下旬、公園愛護会の皆さんに、公園にて、種蒔きのコツを教わり、一人ずつ蒔き、水やりをしました。
その後も芽が出たタイミングや、花が咲いたタイミングで生長を見に行きました。
園外の方との交流が少なかったこともあり、教わる前は少し緊張していましたが、
芽が出たり、花が咲いたりしたところを見て喜んでいました。

「お手紙での交流」

11月中旬、ひまわりの植え方を教えていただいた愛護会の方に、手紙を書き、届け、お礼を伝えました。
その後は子どもたちからの質問にこたえてくださいました。
手紙を書く時には、愛護会の方の顔を思い浮かべて絵を描いたり、
「うかたをおしえてくれてありがとう」「たくさんさいたよ」と子どもたちなりに感謝を伝えられました。

これまでのひまわり栽培交流

[開催のようすはこちら](#)

このページへのお問合せ

港南区区政推進課企画調整係

電話：045-847-8328 ファクス：045-841-7030

メールアドレス：kn-kikaku@city.yokohama.jp